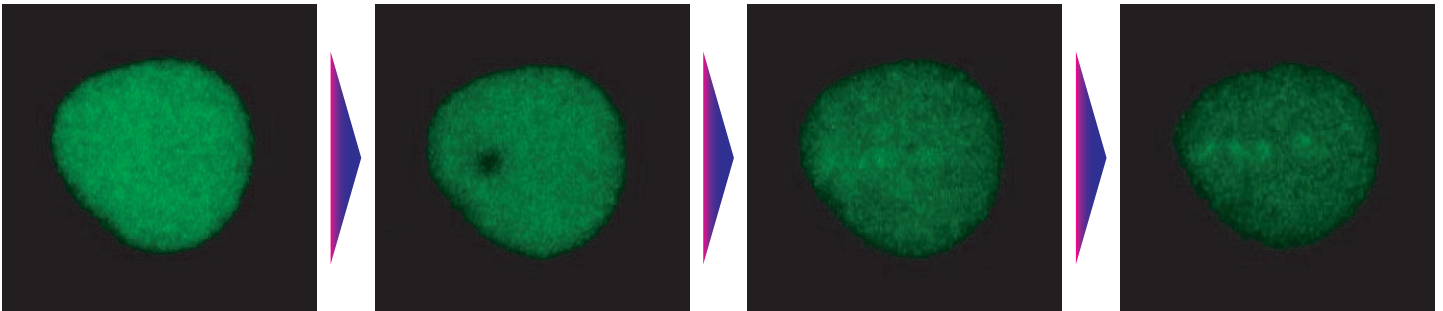


❖ マイクロポイントを使用してDNAの損傷・修復を観察 ❖

光学顕微鏡のEpiポートに取り付けたマイクロポイントを用いて、試料のDNAを損傷し修復の様子を観察する。

【概要】

HeLa細胞に対してピーク波長365nmのパルスレーザ照射により局所的に損傷を発生させて修復システムの観察を行った。



- 顕微鏡ステージを移動させながらマイクロポイント365nmを1発ずつ、計4箇所照射しDNAに損傷を与えた。蛍光強度の増加により、修復因子が集積していることが観察できる。

【特徴】

- ・各メーカー光学顕微鏡へ取り付けが可能
- ・使用中の顕微鏡へ追加可能
- ・最小スポット径は約0.3um*1
- ・使用する波長を選択(365nm~600nm)*2
- ・観察と同時に使用可能
- ・共焦点顕微鏡と組み合わせて使用可能
- ・各種ソフトウェアで制御が可能なGalvoタイプ。

*1:有効値は条件により異なります。
*2:指定がない場合は435nmPeakです。

【その他の用途】

- ・Ablation
- ・Uncaging
- ・Photoactivation
- ・Photobleaching 等

※試料、顕微鏡仕様等の条件により実験が成功しない場合がございます。
※予告なく外観・仕様変更される場合がございます。